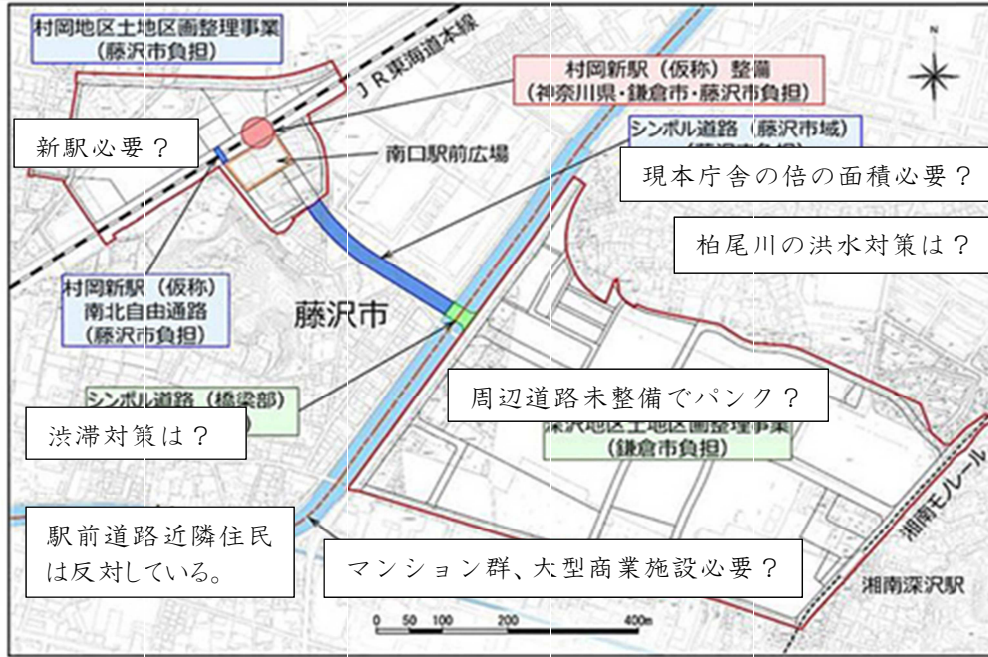


◆村岡新駅、本庁舎移転が市政最大争点！

コロナ禍、気候非常事態、人口減少、少子高齢化、空き家増加の中、現在の計画のような大型開発をやるべきでしょうか？全ては次世代の借金です。鎌倉市はSDGs未来都市。他の街と同様の太郎あめの街づくりで良いの？



◎深沢地域整備事業長嶋の提案…富士山の景観活かした憩いのオアシス 防災公園・遊水地、外周散策コース、グラウンド、野球場、テニスコート、芝生広場、フラワーパーク、保険福祉センター、ごみ処理施設でエネルギー回収(温浴施設・プール、うなぎ・ふぐ養殖等)、大学誘致して学園都市、農園、市場。
→財源確保の為に笛田公園等、関連既存施設は移転を検討。

※事例 プラター公園(ウィーン)、天王寺公園、平塚総合公園、境川遊水池公園
○コンビニも自販機もない、反常識商業リゾート「VISON」

敷地面積は深沢の約4倍の119㌖。東京ディズニーランド+ディズニーシーより広い。構想から足掛け8年。人口1万4千人の三重県多気町に2021年7月20日、日本最大級商業リゾート施設 VISON(ヴィソン)がグランドオープン。

○サステナブルという新しい贅沢、排ガスゼロ、ゴミゼロ、貧困ゼロエコリゾート
フランスの建築事務所 Vincent Callebaut Architectures が、フィリピンに総敷地面積27,000㎡の排ガスゼロ、ゴミゼロ、貧困ゼロのエコリゾートを計画提案。敷地内にホテル、美術館、科学研究センター、小学校、体育館、プールなどの施設を備える。 ↑↑↑開発やるならSDGs未来都市として相応しい提案を↑↑↑

注・衆議院の選挙次第で日程が変わる可能性があります ↓

鎌倉市長選挙告示日
鎌倉市長選挙投票日

令和3年10月17日
令和3年11月0日



鎌倉を良くする為に共に進みます！

中沢克之さんは彼が議長の際に私が監査委員と一緒に会派を組んだ仲間。政策が一致できたので共に進みます⇒5百億円規模の村岡新駅・本庁舎移転を止めて、コロナ、インフラ老朽化、雇用経済などの対策への予算投下を目指します！

拝啓、松尾市長殿

村岡新駅、本庁舎移転、本当にできるのでしょうか？市長の妄想ではないでしょうか？

9月議会で質疑させて頂きましたが、様々な問題点のお答えが全くだしません。どうするの？

○深沢小学校近隣の道路の通行、道路拡幅しないとどうにもなりません、やらないのですか？

○近隣道路の渋滞・歩行者安全確保、道路拡幅しないとどうにもなりません、何時やるおつもりですか？

○柏尾川最大規模降雨予測632mmで大きく浸水しますが水害対策のハード整備は、やらないのですか？

○他の官公署と離れています、今の所他は移転予定なし、これ地方自治法4条違反ですが？←訴えられたらストップします。

◆ざっくりで約500億円の開発⇒実際は1.5倍？2倍？必要では？

区画整理事業205億円、消防本部18億円、体育館50億円、グラウンド5億円、プール10億円、本庁舎170億円、村岡新駅41億円(過去議会答弁より)⇒これ次世代の借金でやる訳です。

今やるべき時ではありません。コロナ対策、経済雇用対策、インフラ老朽化対策、災害対策、等への財政出動を行うべきです。

自宅〒鎌倉市極楽寺2-6-10-201、メール:kamakurasai@gmail.com

鎌倉市議会:鎌倉市御成町18-1、市役所電話0467-23-3000(代表)

1-1.村岡新駅が出来ない最大の理由

神鋼橋の近くに橋をかける予定だが、橋を渡った先の駅前まで道路の立ち退きのに反対している住民は多い、と聞いている。土地買収が出来ないのではないか？

1-2.本庁舎移転が出来ない最大の理由

市役所移転の計画は地方自治法4条↓違反と長嶋は考えています。」

地方公共団体は、その事務所の位置を定め又はこれを変更しようとするときは、条例でこれを定めなければならない。⇒2.前項の事務所の位置を定め又はこれを変更するに当つては、住民の利用に最も便利であるように、交通の事情、他の官公署との関係等について、適当な考慮を払わなければならない。

☞出席議員の三分の二以上の者の同意が必要⇒9名反対で✖

・他の官公署→公共サービス提供は市役所だけでやっている訳では無いが、他は何処も移転予定なし(保健福祉事務所、警察署、裁判所、県水道営業所、社会福祉協議会、商工会議所、観光協会、郵便局本局、銀行、医師会など)

・交通の事情→村岡新駅は本庁舎移転予定地から遠くて不便。

1-3.一般社会においてはそれを騙しと言う

①現本庁舎は津波が50センチ程度浸水すると言っていた⇒平成29年3月の本庁舎整備方針には津波が50cm~120cm浸水する区域なので、本庁舎と地下に浸水が想定されると記載されている。しかし、平成27年3月発表の神奈川県最新データでは現在の本庁舎は津波は浸水しない事となっている。

②新庁舎は現本庁舎の約2倍の面積なのにコンパクトな本庁舎と言っている

③市役所移転予定地近隣は想定最大規模降雨(24時間632mm降雨)の時に浸水するのにその事を隠していた。

④村岡新駅の鎌倉市の負担金は4億円と広報している。

鎌倉市の新駅負担金総額は約41億円。鎌倉市所有の保留地の処分金を37億円充てるから4億円で済むと言っている→保留地が予定価格で売れなかったら大きな赤字になる。そもそも鎌倉市の税金で買った市民の財産である。

1-4.渋滞に拍車がかかる交通問題

○駅・商業施設・行政施設利用、人口増等による、交通量増加の対応が考えられていない→特に商業施設の車の増加は深刻。予定している規模から考えると1日に最低でも6~8千台程度増える。行き来するのでその倍の台数増加する。

○現状でも近隣道路渋滞が激しく、歩道の整備も不十分、交差点寝違えなどもあり、道路拡幅など改良工事が必要だが一部しか計画されていない。

1.特に深沢小学校校横の通り、2.深沢交差点近辺→やまか前→深沢駅前⇨この導線の歩道拡幅も必須、3.県道藤沢鎌倉線は渋滞が激しいので拡幅必須、4.古館橋、深沢小学校入口等の交差点寝違えがあり改良工事が必要。

○川沿いの県道は短距離に交通量の多い交差点が出来る→渋滞増加。

→手広→古館橋→村岡新駅入口

○村岡新駅は東西に行き来する道路が計画されていない→行き止まり。

1-5.災害対応など、前提が崩れた

○災害時、深沢の本庁舎を災害対応の前線基地にしている

→前線基地と言うのは前線にあるもの。津波来襲時前線は沿岸部。

→津波ゾーンは孤立化する、関東大震災で経験済み。

→トンネル・電柱倒壊、崖崩れ倒木、建物倒壊などで行き来が困難になる。

→ボランティアセンターは鎌倉市福祉センターに設置(中央図書館隣)、本庁舎と離れていては行き来が困難な状況になり、活動に支障が発生する。

○緊急交通路指定想定路は深沢地域整備事業用地近隣に通っていない。

→災害時救助や物資の輸送、ボランティアの行き来が困難に陥る。

→国道134号線、鎌倉街道は緊急交通路指定想定路、第1次緊急輸送道路に指定されている。つまり、災害時はこちらがメイン通路になる。

○地盤が緩い

→本庁舎移転予定地は基礎地盤まで約27m(現庁舎7m)盛り土の下は砂地

→鎌倉の震度が低く出るのは地盤が安定している現本庁舎に震度計あるから

・本庁舎移転予定地は液状化の危険度が高いとなっている(e-かなマップ)

○気候非常事態で水害が頻繁に発生している状況

・2019年台風19号の24時間降雨→942.5mm箱根、604.5mm相模湖

・今年8月15日1時間100mmの降雨→山北町、松田町

・近隣の柏尾川は家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)に指定。

・新川合流地点から下流は家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)に指定。

・境川と柏尾川の分岐点まで感潮区域→満潮時は海水で川がフタがされる

・地盤嵩上げをするようであるがそうすると近隣住宅地は低いままで浸水する。

1-6.財政その他諸問題

・行政の見積もりはザル。追加工事が次から次へと出てきて予算がふくれる。

・近隣の方々は土地の値段が上がり、固定資産税が上がる可能性がある。

・コーナン規模の大型商業施設ができると市内商店スーパは打撃を受ける。

・マンションで人口が増えるように見えるが市内横移動が多く空家が増加する。

・老朽化で移転と言っているが現本庁舎は使用する方向性。使えるのです。

・職員の業務移動時間増加、通勤費用負担4千万円増額。

◎様々な問題点をクリアするためには費用が膨大に増える可能性が大、財源の確保はどうするのか？次世代の借金でやる事になるのでは？

⇒⇒⇒議会で再三指摘していますが、改善させる見込みのある答弁なし！